

# 風光



9月7日(日) 労働会館東館ホールにて、東海地方本部の第28回定期大会が開催され、15運動方針や14秋闘方針、スト権、役員体制などが確立されました。

166人の代議員、オブザーバーと来賓の方々、執行委員を含め、215人が参加し、24本もの発言がされるなど、活気溢れる大会となりました。

専門部の活動報告や未組織訪問を頑張った支部の報告。矛盾に気付き、話し合い、学び中で団結を深めた分会。また平和の問題や公的福祉拡充など、地本方針を補強し、押し進める発言に励まされました。

**開会の「あいさつ」**

私たちは、この1年で、「福祉は権利」ということを学んできました。まずは私たち自身が福祉は権利を実践しなければなりません。それが、私たちが生き生きと働き続けられる職場づくりにつながっていくと思います。

「仲間がいるってうれしいね」を実感しながら、共に頑張っていきたいと思います。

## 東海地本第28回定期大会



**【大会発言】**  
 厚労省・名古屋市交渉に参加して  
 そよ風分会 近藤代議員

8月の全国障害部会の学習会と厚労省交渉に参加してきた。学習会で支援センターの今後のあり方が地域に向けての後方支援という中身に疑問を感じる。7月に市交渉をしてその後懇談ができた。懇談では相談支援、待機児問題とぼけっこの

給与について話げできた。相談支援の実態を伝え、「予算要望する」と回答ももらった。粘り強く訴えたことで懇談になった。保護者と一緒にひきつづき訴えたい。

**障害協・障害児分野の報告**

**ぼけっこの分会 清水代議員**

市交渉をして、相談支援と待機児問題を重点に、ちよだの存続とぼけっこの6月までの給与問題を話した。ぼけっこのができて、ちよだがなくなれば、必要な療育が受けられなくなることを訴えた。

8月の懇談で市は公立並みに1人分予算要求している。財政にどう訴えるかを話し合えた。ぼけっこの予算が通園部は始めからカットされていたのがくやしい。民調の事も今後話を詰めていくことが必要。

**要求を束ね**  
 鈴鹿市長と交渉を行う  
 ぐみの木分会 三嶋代議員

**今年度初め**  
 に保育の勉強会をひらき、鈴鹿市

## 気付いた人から声を上げ、話し合い要求を束ね、あきらめずに前進しよう!

で連絡会を立ち上げた。署名を集め市長交渉を行った。直接市長に会い、職員保護者の代表で懇談した。「今より悪くなることはない」という話に安心するのではなく、今以上を求めたい。9月は園に担当課がきて市交渉を行う。現場の声を届け、私たちが健康で長く働けること、良い保育ができることと訴えていきたい。

**保育協・名古屋市交渉と愛知県交渉の総括**  
 川畑執行委員

市とのやり取りの中で小規模・家庭保育については現行維持の回答をもらう。民調の「堅持拡充が必要」という回答はあるが格付け制度は何とも言えないという話に不安を感じる。格付けを守る必要がある。ネット署名にも力を入れ、市の動きを注視したい。署名提出と合わせ市との懇談も繰り返していった。

県交渉の前にレクチャーをしてもらい、新制度で

県に該当する中身を聞いてから要求書を作った。間に自治体が入るので、思いを伝える難しさを感じた。

### 組織を拡大し

**何をしたいかを考える分会に**  
さくらんぼの分会 濱田代議員

5月20日に分会化。未組織の人にも広げ、地域福祉の増進も目標にしてきたい。「組合に入ったら何してくれる？」というメリットデメリットの話になりがちだが、そうじゃない、自分が何をしたいかを考えていく。

生活保護不服審査請求の提訴を、さくらんぼの会の仲間3名が原告になったので支援していききたい。長い闘いになる。みなさんも協力を。



### ほけっと開設の報告

**ほけっと分会西島・栗本代議員**

この6月に無事ほけっとを開設することができた。ご協力ありがとうございました。

分会の結成大会で元顧問の小早川さんの講演を聞いて組合の大切さを学び、組合を知る会を何度も開き、仲間を増やした。

結成と同時に労使基本協定を出した。早めの締結をしたい。

私たちのしたい療育など分会で話し合う。

組織拡大も課題。一人ひとりが元気に、

支え合いながらがんばっていききたい。



### 中村支部の活動報告

**げやきの木分会 土居代議員**

グリフェス前に未組織訪問をして、支部ニュースなどを渡す。対応が施設長で、向こうも緊張していたが受け取ってくれた。

支部で平和のとりのくみ。原水禁世界大会参加の報告や被災地報告、沖縄基地問題を学び、小山さんの沖縄料理も食べた。未組織の職場にも往復はがきで案内を出した。参加はないが3園から返信が返ってきた。これまで誘ってきた成果。秋の交流企画にホットヨガを計画。また未組織職場にも

お知らせし、

署名なども持つよ。



### 昭天瑞支部の組織拡大強化

**新瑞福祉分会 青山代議員**

支部の存在が大きくなったと感じる。地本―支部―分会のあ

り方を考えてきた。支部に地本の機能を移譲すると負担も増える。格差が起きないか心配。

支部会議で、毎月分会報告を出してもらい、状況把握をしてきた。支部で話す元気になる。働き続けられる職場・分会づくりを通し、支

部の強化を長い見通しの中で進めよう。



### 千種名東支部未組織訪問の成果

**田代分会 國原代議員**

各分会一ヶ所の未組織訪問を設定し、田代は二ヶ所訪問し、親切な対応をしてもらえた。UTTERにも障害協と一緒に訪問し、学習会のお誘いもした。

名東分会の要求から重田先生を講師に健康の学習会を職対部と連携して行い、未組織職場の人の参加もあった。7月にTUTTERも組合に加盟してくれた。

6分会に増えたので地域に根

差した活動に力を入れたい。



### 臨パ部会のとりのくみ

**井上執行委員**

労働条件アンケートをとり、

それを基に1月に交流会を開き状況交流もできた。

予定したが、参加者が揃わずできなかった。6月に分会役員対象に交流を行った。

その会議で「非正規の核になる人がいるかないかで大きく違う」という話が出た。核になる人づくりと定期的に会議を開催することを大切にしたい。

「あの人に会える」という仲間集いの場を作りたい。



### 労働講座実行委員会の案内

**加藤執行委員**

秋闘労働講座は毎年実行委員形式で、みんなで学びながら共有して作っていく。今年も実行委員を募集中。

1回目の会議で、「分からないこと」や状況を聞きあった。

休憩がない、持ち帰り仕事がいっぱいなど、色々な声が出てきた。

今年もこういう声を基に、いい講座を作りたい。若い子たちが和気あいあいと楽しくできるように。本番は

11月末、

12月頭で実施予定。



### 新執行部です

よろしくお願ひします

執行委員長

寺坂 渉

副執行委員長

安藤 光枝

五十川 薫

井上 芳紀

薄 美穂子

岡村 悦子

書記次長

大川 彩子

大瀧 友美

片山 華奈

加藤 圭

川畑 瑞菜

桑田 亜紀

越須賀 舞

小島 不二子

里中 瑞穂

島田 幸子

清水 瞳子

関谷 祐美

高橋 優美

土井 美咲

内藤 郁

永井 久美子

中上 梨香

中村 英司

長沼 恒男

西岡 菜穂

野田 知也

野澤 衣澄

八万 史織

林 亜衣

原 朋子

兵藤 望美

宮越 章乃

村上 真衣

山本 陽子

石濱 剛志

神田 春美

ひまわり保育園

荒畑もちの木保育室

東部地域療育センターほけっと

新瑞福祉会

めいほく保育園

西部医療センターくさのみ保育所

藤原 佳子 書記局

藤部 公一 書記局

みなと福祉会

びわの実保育園

社会館

田代保育園

南部地域療育センターそよ風

池内わらべ保育園

のざく保育園

新瑞福祉会

社会館

南部地域療育センターそよ風

なえしほ保育園

発達センターちよだ

けいほく保育園

げやきの木保育園

ひまわり保育園

くまのまえ保育園

社会館

春日井福祉会

ゆたか支部

新瑞福祉会

めいほく保育園

あいかわ保育園

かわらまち

東部地域療育センターほけっと

第2めいほく保育園

ほりなかく保育園

ほりなかく保育園

天白福祉会

天白福祉会

天白福祉会

天白福祉会

天白福祉会

天白福祉会

天白福祉会

## 非正規の要求実現から拡大を ゆたか支部 平岡代議員

職場では6割が非正規で、仕事に矛盾抱えている。正規と同じ責任を任されても給与が低い。休暇制度なども不備がある。非正規の人の要求実現を通して組織化を進めるため、法人に要求を出した。



法人と交渉して賃金表を確立させ、休暇制度も改善してきた。みのり作業所ではパートの組織化をねらって「パートでパッと話そう会」を企画。職場の中で過半数組合になれば変えられるという話から加入してくれ、過半数組織を達成。これを他の職場にも広げていきたい。

## 青年部に集まれ!

### めいほく分会 小倉代議員

青年部ではみんなが疲れを忘れ、楽しく参加できるように、今年はこのこきやボウリング、ミステリーツアーなどを企画してきた。グリフェスでも力を出し、組合学校では臨パ部会と一緒にバルーンアートにとりくみ交流もできた。今年

は愛労連青年協也



全国青年部にも役員を送り、活動してきた。今年には出張青年部を企画して多くの青年とつながりたい。

## 地本25周年企画のお知らせ

### 社会館分会 北原代議員

来年6月開

催に向け、活動を進めている。

組合員の団

結を確認し、次につなげることを目的に内容を検討している。

テーマが「仲間がいるってうれしいね」東海地本25周年みんなで知ろう、仲間の力」に決まった。

記念誌の中で歴史を振り返りつつ、見ていて飽きない中身にしたいと、実行委員会できわあいあいと話してきた。会場は日本ガイシ・レセプションホールを予定。多くの組合員の参加で成功させたい。

## 労使基本協定締結の意義

### 石橋執行委員

民調学習や市との懇談、他分会の就業規則変更提案の話も聞いてこのままではいけないと思い、3分会で協約書の締結を申し入れた。しかし法人は協約の中の文言にひっかかる。地本で経営管理者会議と懇談も持った。

分会の独自

要求受結と、

合わせ締結

をした」と

訴える」と、協

約の中の「同意を得て」の文字がなければOKという返事。大切なのは労使が対等に話し合うことと思ひ、文言を修正して締結した。みんながんばろう。

## 仲間を支えて団結が深まった

### 春日井福祉分会 稲垣代議員

職場の都合で第2そだちの育休者が天使みつばちで復帰することになった。しかし、固定勤務しできないなら、いったん退職しパートにと言われる。

「それはおかしい」と育児短時間制度を利用するよう申請した。申請を出されたことに理事会もとまどい、組合でみんなの合意を得てから申請を出すよう返された。仲間を支えられなければ組合の意義がないと思ひ、組合として支えていこうと話し合った。これをきっかけに団結が深まった。理事会と懇談を持ち、責任の所在を明らかにし、「理事会として職員一人ひとりを大切にしてほしい」と

要望を出して」。



本音を出し合い、思いを束ね

団交に向かう

## 新瑞福祉分会 山口代議員

昨年新規事

業で24時

間緊急一

時保育を

始め、今年

賃貸本園にも手を上げる。忙し中自分を守るため、本音で話そうと、年代別交流を行った。

出された本音を拾っていくと疲れ切った気持ちや、他園の大変さも出てきた。保育の中身を子ども目線で作れるように、今想定できる不安をどうクリアするかなど話し合う。

声に出すことが大切。多岐にわたる意見が出た。子どもたちに負担がいかないよう、一人ひとりの声を束ね団交したい。

## あきらめずに声を上げ続ける

### めいほく分会 市橋代議員

理事会から2012年に1年単位の变形時間労働と障害・高齢職場の賃金表改定の提案が出た。2月末の提案で4月実施は無理と話し、就業規則変更の見書を出さないまま1年たった。【注：「反対」の意見書でも、出せば、規則の改定が受理されてしまう】

「説明責任は充分果たした」と理事会から言われ、就業規則の改定がされそうになった。仕方



なく組合から

「納得でき

ない」とい

う意見書を

出し、今年4

月から就業規則が変わった。

しかし、実施されても分からないことばかり。みんなで就業規則や労基法を学んできた。結局労働者にしわ寄せがくる。

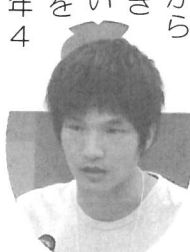
まだ誰も納得していない。スタートしてからあきらめない。子どもたちが元気いるためには働く者が元気でないと。そのため声を上げることがある。あきらめず声を上げていきたい。

## 矛盾をそのままにせず要求に

### 社会館分会 小木代議員

6月に団交した後、新入職員や育休・病休復帰の個人宛に有給と夏季給について削減の提案が出され、不安の声が上がる。矛盾に感じるところを理事と

話した。理事からも懇談の時間を持ってもらい分会でも討議し、要望してきた。懇談では要望をくんだ提案が返ってきた。おかしいと思つたことをそのままにせず、すぐに分会で討議し、声を上げることが大切。法律や就業規則を勉強する大切でも学んだ。





# 労働局懇談から学んだこと

## 薄執行委員

労働局懇談  
に初めてと  
りくんだ。  
今名古屋市内  
保育所に自  
主点検票が配られ、局としても  
保育所の働き方を聞きたいとい  
う姿勢。障害分野の夜勤実態も  
含め話してきた。有給休暇が取  
れない、行事前はサービスマン  
が多い実態を話す。局から「帰  
れないと言ったが時間管理は？」  
と言われ口ごもってしまった。  
「若い人はどう思っている？」  
と尋ねられ、自分の立ち位置や  
自覚が問われている。「局とし  
て指導はできるが雰囲気をつく  
るのはあなたたち」という言葉  
に返す言葉もない。働き続ける  
職場にするために変えることは  
自分たちにはできない、雰囲気  
は1人ではつくれない。分会  
に持って返してもらって、話し  
合ってほしい。



# めいほくの平和のとりにくみ

## 塚本・近藤・伊藤代議員

塚本・平和へのとりにくみで、  
今年分会主導でコンサートを開  
催した。平和への想いをアピー  
ルしてもらい、平和のことを考  
えたりできる場になったかと思  
う。これからも続けていきたい。

# 近藤・大変な状

況の中コンサ  
トに参加して、  
準備の間も組  
合の人がいて  
心強く感じた。  
継続していく  
ことで波及して  
いく。歴史をつ  
くっていききたい。



# 伊藤・平和のとらえ方がそれ

それ違うことを実感。戦争がな  
いだけでなく、仲間と笑つのも  
やりたいことができるのも平和  
だからこそ。このつながりから  
障害分野の仲間が加入を決意。  
平和だからこそ手を取り合っ  
て仲間と一緒に考えていきたい。

# 名南支部ピースフェスティバル

## みよし分会 石臨代議員

名南支部の  
ピースフェ  
スティバル  
は保護者と  
一緒に学べる  
取り組みで大切に  
している。



# 今年には田巻弁護士に集团的自

衛権の話をとても分かりやすい  
例えて話してもらおう。

個別的自衛は自分が殴られそ  
うだからやりかえす。集团的自  
衛権は道路の向こうの友達が危  
険だからなぐる。本当に必要か

考えさせられた。学習すること  
で本当に危ないと分かる。子ど  
も達のことを思ったら、今行動  
することが大事と改めて感じた。

# 平和を求め政治を変えよう

## すずかけ分会 榎谷代議員

分会で5月  
に憲法学習  
をしたがイ  
メージがわ  
かないという  
意見が出た。見えないことは見  
逃してしまう。社会科学が必要。  
平和について考えたい。自分は  
戦後10年たって誕生したが、戦  
争の悲惨さを聞いて育った。分  
からないなりに両親から話を聞  
いた。戦争は本当にいかん。秘  
密保護法は国が戦争に向かうた  
めの土台になる。この法律の本  
当の怖さは政府が嘘を言えるこ  
と。戦争中も同じだった。



今、政治的課題を避けては通  
れない。ちゃんと政治を見て投  
票しよう。本質を見極める力を  
持っていききたい。

# 原水禁世界大会に参加して

## 外山・榎原・代田代議員

外山・原水禁世界大会が8月  
4〜6日広島で  
行われ参加し  
てきた。個人  
的に印象的だっ



たのは、ピキ二湾での原爆実験  
は12年間毎日原爆が落ちるのと  
同じという話。今被爆者の高齢  
化で聞き取りがむずかしくなっ  
ている。原爆と人類は共存でき  
ない。

# 榎原・世界で

2万発の核兵  
器がある。自  
分が核兵器を持  
てば、相手も使えな  
くなるという核抑止論があるが、  
一度持ってしまったらそれに依  
存してしまう。核の平和利用も  
言われるが、原発事故から被災  
地は復興できていない。災害だ  
けでなく人為的ミスもあるのが  
核。核がない世界に。



# 代田・開会総

会で「何年も闘  
病生活をしてい  
るがNPT会議  
で核禁止条約が決まるまで死ね  
ない」という坪井さんの話が印  
象的だった。被爆時、11歳で妹  
と二人だけ生き残り、親戚の家  
で家財を売って生活したという  
話を聞き、何のための戦争かと  
思う。



子どもたちを戦争に行かせな  
いために、みんなで何ができ  
るのかを考えて行動していきたい。  
戦争のない、核のない世界を  
実現させるため一緒にがんばり  
ましょう。来年は長崎です。

# おつかれでした！

この大会を期に、委員長も  
務め、長く執行委員をしてい  
た神田さんが退任し、東海地  
本と中央本部の書記長を歴任  
した仲野さんが中央本部より  
全労連に向う事になりました。  
今までありがとうございました。  
長い間おつかれさまでした。



互いには、お互い  
に支え合おう。そ  
れぞれの現実に向  
かってガンバロウ！

本日は東海地  
活創る全労  
連の「みんなで  
大切さ」を伝  
えていきたい。



# 【編集後記】

大会でのみなさんの発言を原稿に  
おとすために記録を読み返すと、改  
めてその内容のすこさに感動してし  
まいます。その感動が伝わるように  
文章化することが必要なのですが、  
なかなかそう上手くいかず、悔しく

# 思います。

24本という発言の多さに、一人ひ  
とりの発言内容を大幅に圧縮しなく  
てはならず、「もっと伝えたいのに！」  
と残念に思います。この感動をぜひ  
味わってほしいので、来年の定期大  
会に来て下さい！  
ハムコ